

令和7（2025）年度

飛び入学に関する自己点検・評価報告書

東京藝術大学音楽学部

令和6（2024）年11月

1 飛び入学の趣旨等について

1-1 飛び入学を実施する趣旨

一人一人の能力・適性に応じた教育を進める観点から特定の分野で特に優れた資質を有する者に早期に大学入学の機会を与え、その才能の一層の伸長を図ろうとするもの。グローバル化の進展に伴い激化する国際競争の中で、新たなイノベーションを創出し、国際的に活躍できる人材を育成する。

1-2 飛び入学をする学生に求める資質

高等学校における基礎的な学力を修得していること。さらに、専攻実技に関する高度な技能と豊かな表現力を身に付けていること。

2 入学者の選考状況について

2-1 飛び入学による受入状況

募集分野(学部・学科名)	募集人数	志願者数	入学者数
音楽分野(音楽学部・器楽科)	若干名	1人	0人

2-2 出願に際して大学として工夫していること

出願時に提出書類として、高等学校長等の推薦書を提出させている。

2-3 具体的な選考方法及び選考方法について工夫している事項

第一次選考：書類審査

提出書類を総合して判定する。

第二次選考：専攻実技試験・基礎能力検査・面接

各試験等の成績を総合して判定する。

- ・選考方法について工夫している事項(出題内容・出題意図等)

提出書類(自己推薦書、推薦書、調査書等)、専攻実技試験、基礎能力検査及び面接により、多角的な視点から学生の資質・能力を評価し、総合的に可否を決定する。

・自己推薦書では、国際コンクールにおける入賞歴等、これまで音楽活動における顕著な業績などを高く評価する。

・推薦書及び調査書等では、早期に大学教育を受けるために必要な基礎学力などを評価する。

3 入学後の教育内容及び指導体制について

3-1 教育内容の特色について

・入学後、指導教員との相談のもと特別カリキュラムが組まれる。例えば、一般の学士課程のカリキュラム以上に、個人レッスン時間やソリストとして本学奏楽堂での演奏会の機会等が予定されている。

・成績優秀者については、既定の単位数を取得することにより3年間で卒業することも可能。

3-2 指導体制の特色について

・選択科目は実技教員と検討の上、自由な組み合わせ（語学科目に重点を置く等）が可能となる。

・複数教員による手厚い指導・サポート体制等、充実したキャリア形成支援を行う。

3-3 学生の在学状況について

入学年度	入学者数	在学者数 (4月末日見込み)	転学者等
令和4年度	0人	0人	0人
令和5年度	0人	0人	0人
令和6年度	0人	0人	0人
令和7年度	0人	0人	0人

1 自己点検・評価の状況について

飛び入学に関する自己点検・評価の実施状況（実施時期、実施体制、評価結果の概要、評価結果の公表方法等）について

実施時期：令和6年11月
実施体制：運営会議（入試）
評価結果：特に問題なし
評価結果の公表方法：大学ホームページにて公表

2 大学と高等学校等との連携に関する取組状況について

公開講座の開設、科目等履修生の受入れの状況等について

高等学校等との連携については特に実施していない。